入力一要素一属連



属連では、指定した材の属性を連続で変更します。

- 1 をクリックするか、〔入力 要素〕をクリックします。
- 2 「要素」の画面が表示されます。「属連」をクリックし、要素を選択します。
- ③「材属性連続変更」の画面が表示されますので、変更する項目にチェックをつけ、各項目を設定します。
- ④ 配置された材をクリックすると、材の属性が変更されます。
 また、①~②点を対角にドラッグして選択すると、「要素属性変更確認」の画面が表示されます。「はい」をクリックすると、範囲選択した材を一括で属性変更できます。
 ※ 変更された材属性は、〔入力 要素〕の「属性」で確認できます。

```
入力一要素一属連
```

		材属性連続変更
1	┙ᡃᡍᢖ᠘ᡘ᠊ᠮ	サブレイヤ 1 🗸 閉じる(※)
2	☑ 樹種群	S-P-F 🗸
3	☑樹種	SPF 🗸
4	✔ 等級	甲種枠組材2級 ~
(5	大型▼	204 🗸
6	┛オフセット	44.5 mm ●左/上 ○右/下
7	✔縦/平	●縦使い ○平使い
8	☑寄せ方向	○左/上 ◉芯 ○右/下
9	☑ 高低差	-49 mm
Ū	☑ 表示属性	✔材長 ✔型式 □材番号 □手前·奥
Ū	☑取付け	☑ 現場取付
Ũ	✔ 梱包領域	(/aU) v

属連では、属性連続変更の各項目の説明を行います。

- 1 サブレイヤ:材の配置レイヤを一括で変更します。
- 2 樹種群:配置された材の樹種群を一括で変更します。

※ 樹種群を「積層材」に変更すると、材が斜線表示に変更されます。

③ 樹種:配置された材の樹種を一括で変更します。

〔補助 - マスター編集〕の「樹種・等級マスター - 樹種」で樹種群内に設定した樹種が 選択できます。

④ 等級:配置された材の等級を一括で変更します。

〔補助 – マスター編集〕の「樹種・等級マスター – 等級」で設定した等級が選択できます。 樹種群で「(在来部材)」を選択している場合は、在来部材内に設定した等級が選 択できます。

5 型式:配置された材の型式を一括で変更します。

〔補助 – マスター編集〕の「材寸マスター – 入力・加工用材寸、合わせ型式構成」で設定した型式が選択できます。

6 オフセット:材配置点からのずれ量を選択または数値を直接入力で変更します。

材配置点より左、右、上、下でオフセット位置が表示されます。

〔補助 – マスター編集〕の「メニューファイル – 材オフセット」で設定した芯ずれ量が選択できます。

- ⑦ 縦/平:材の縦使い、平使いを一括で変更します。
- ⑧ 寄せ方向:配置された竪枠、まぐさ受け、かい木の寄せ方向を一括で変更します。

入力一要素一属連

⑤ 高低差:材の高低差の数値を直接入力で変更します。

高低差がプラスの材は赤斜線で表示され、マイナスの材は青斜線で表示されます。

- ① 表示属性:チェックをつけると、指定した材のみ材長、型式、材番号が伏図画面に表示されます。
 - ※「手前・奥」は、〔表示 ユニット編集モード〕のユニット図で寄せ方向が指定され た材に表示されます。
- 11 取付け:ユニット内に配置された材を一括で現場取付に変更します。
- 12 梱包領域:材に振り分けた梱包領域の番号を一括で変更します。

「(なし)」で梱包領域を解除できます。

く寄せ方向>

・上	·芯	・下
		/

一括変更一材属性



材属性では、既に配置された材の樹種、型式等を一括で変更します。

- 1 〔一括変更 材属性〕をクリックします。
- 2 「材属性一括変更」の画面が表示されます。

一括変更する項目を設定後、「実行」をクリックします。

1 レイヤ:変更する対象レイヤを選択します。

・選択中のレイヤ:表示しているレイヤのみ変更を行います。

・全レイヤ:土台レイヤから屋根レイヤまで全てのレイヤで変更を行います。

材種:変更する材要素を選択します。

C t r l キーやSh i f t キーを押したまま変更する材要素を選択すると、複数 選択できます。

「すべて」にチェックをつけると、「材種」に表示されている全ての材要素が選択されます。

一括変更一材属性

③ 変更対象:既に配置された材(変更前)の樹種や型式等を指定します。

チェックをつけて選択した樹種や型式等が変更対象となります。

- ・樹種群:「未指定」「D.Fir-L」「Hem-Fir」「S-P-F」「I ビーム」「集成材」 「積層材」「その他」「(在来部材)」から選択します。
- ・樹種:〔補助 マスター編集〕の「樹種・等級マスター 樹種」で設定した 樹種が選択できます。
- ・等級:〔補助 マスター編集〕の「樹種・等級マスター 等級」で設定した 等級が選択できます。
- ・型式:〔補助 マスター編集〕「材寸マスター 入力・加工用材寸、合わせ 型式構成」で設定した型式が選択できます。

「集成型式すべて」「集成型式以外」を選択すると、材が構成されて いない404、406、410等の集成型式のみの一括変更もで きます。

・材成範囲:変更対象となる材成の範囲を設定できます。

指定した数値以上かつ指定した数値以下の材成が対象となり ます。

④ 変更項目:変更後の樹種や型式等を指定します。

チェックをつけて選択した樹種や型式等に変更されます。

- ・樹種群:「未指定」「D.Fir-L」「Hem-Fir」「S-P-F」「I ビーム」「集成材」 「積層材」「その他」「(在来部材)」から選択します。
- ・樹種:〔補助 マスター編集〕の「樹種・等級マスター 樹種」で設定した 樹種が選択できます。
- ・等級:〔補助 マスター編集〕の「樹種・等級マスター 等級」で設定した 等級が選択できます。
- ・型式:〔補助 マスター編集〕「材寸マスター 入力・加工用材寸、合わせ 型式構成」で設定した型式が選択できます。
- ③「材属性一括変更」の画面が表示されます。

「OK」をクリックすると、対象となる材が一括で変更されます。



「レイヤ」「材種」「変更対象」を設定して「実行」をクリックすると、配置された材の検索が できます。

※「変更項目」は設定せずに、「変更対象」のみを設定します。